大分市総合計画・大分市総合戦略の概要について

大分市人口ビジョン
○人口の現状分析　○人口の将来展望

大分市総合計画　おおいた創造ビジョン２０２４

Ｈ２４年施行「大分市まちづくり自治基本条例」
⇒ 市の最上位計画として、市民の参画の機会を経て策定

基本構想

基本構想（平成28年度～令和６年度）

基本構想は、本市のまちづくりの最も基本的な指針として、これから本市がめざすまちの姿（都市像）と、それを実現するために行う必要がある対策（基本的な政策）を定めるもの。

【６つの基本的な政策】
「市民福祉の向上」「教育・文化の振興」
「防災安全の確保」「産業の振興」
「都市基盤の形成」「環境の保全」

基本計画

第１次基本計画（平成28年度～令和元年度）

第2次基本計画（令和２年度～令和６年度）

基本計画は、基本構想を実現するための具体的な政策・施策の関係を体系的に示すとともに、個別の施策項目の内容を明らかにするもの。
また、計画推進の基本姿勢として、「市民主体のまちづくり」など６項目を掲げ、各種施策の推進に取り組むこととしている。

【具体的な政策】：19政策
【施策】：42施策
【計画推進の基本姿勢】：6項目

基本的方向及び取組は、総合計画の各施策の内容と整合性を図りながら策定

第２期大分市総合戦略

第2期計画期間（令和２年度～令和６年度）

将来人口ビジョンを踏まえ、今後大分市が将来にわたり発展していけるよう、大分県や県内市町村などと連携を図りながら、地方創生に関する取組を進めていくための基本目標を設定し、数値目標、基本的方向、基本的な施策と重要業績評価指標（ＫＰＩ）を明示するもの。

【4つの基本目標】
「しごととにぎわいをつくる」
「人を大切にし、次世代を担う若者を育てる」
「いつまでも住み続けたいまちをつくる」
「安全・安心なくらしを守り、未来をつくる」